

2022年度清真学園中学後期入試

(結果)

出願者数 25名

受験者数 25名

合格者数 8名

(受験された皆様へ)

後期入試を受験された皆様、大変お疲れ様でした。新型コロナウイルス第6波の中の入試となり、ご家族のご心労も大きかったと思います。そのような中、全員が受験することができ、入試をスムーズに実施することができました。心より感謝申し上げます。

今年で3回目になった後期入試ですが、過去2回と同様『国語(作文)』『算数』『発想力テスト』の試験科目で実施しました。『国語(作文)』のテーマは『レジ袋の有料化』について2つの記事を読み、それを参考にして自分の考えを理由や根拠を明らかにしながら答えるものでした。昨年のテーマ『オンライン授業』はコロナ禍の中、実体験があったので高い評価の答案が多かったのですが、『レジ袋の有料化』は自分の意見を分かりやすく表現するのが難しかったようです。普段から何気ないことに、自分の考えをしっかりと持つことが大切です。

『算数』は最初の4問の計算問題が標準的だったので、ほとんどの受験生が4問全て正解でした。受験生の皆様に確実な計算力があることが分かりました。話は変わりますが、今年度実施された大学共通テストでは、ほとんどの教科が知識だけでなく、文章を読み取り思考する力が試されました。今回の算数の大問2～4はその傾向に即した問題です。受験生の皆様が問題文を読み取り、自分の考え方をしっかりと説明できたかが評価のポイントになりました。この部分が、合否の大きなポイントになりました。

『発想力テスト』は『時計を使って1mの長さをはかろう』をテーマとしました。周期が2秒になる、単振り子の長さがほぼ1mになることを利用して、1mをはかる実験です。記録をしっかりととりながら、1mの長さに近づけていくことができたかがポイントになりました。正しいデータをとろうとする姿勢、誤差の原因を考え修正する能力など、この実験には様々な要素が含まれます。皆さんが楽しそうに実験に取り組む姿は素晴らしいものでした。今回の経験が、身近な所に科学の種があるということの気づきになればいいです。

後期入試説明会でも説明しましたとおり、今年度は前期入試合格者の入学手続き者が多く、また後期入試の受験者も増えたことから、3倍を超える厳しい結果となりました。

不合格の方々が、中学受験を通して学力を向上させ、物事を最後まで成し遂げる大切さを実感することができたのであれば、それはとても価値のあることです。それぞれの中学校に進学すると思いますが、本校は高校からの入学もあり、多くの方々に高校受験をしていただいています。3年後、一緒に学園生活をおくることを期待します。